

## [2] 消費収支計算

消費収支計算について、その主な内容を報告いたします。

### 消費収支総括表

(消費収入の部) (単位：千円)

科 目	24年度予算	23年度予算	増 減
学生生徒等納付金	4,522,979	4,619,298	△ 96,319
手数料	59,520	56,808	2,712
寄付金	87,150	100,027	△ 12,877
補助金	1,098,824	1,026,348	72,476
資産運用収入	33,516	40,447	△ 6,931
事業収入	219,998	212,188	7,810
雑収入	128,244	177,077	△ 48,833
帰属収入合計	6,150,231	6,232,193	△ 81,962
基本金組入額合計	△ 377,747	△ 267,806	△ 109,941
消費収入の部合計	5,772,484	5,964,387	△ 191,903

資金収支総括表の雑収入に加えて、24年度末退職金の期末要支給額を新給与体系を基に計算した結果、退職給与引当金が過剰計上となった部門については退職給与引当金戻入収入として計上しています。

帰属収入については、資金収支総括表で説明した理由により、学生生徒等納付金および退職金財団からの交付金である雑収入が減額となります。その結果、帰属収入は前年度より8,196万円減収の61億5,023万円となります。

第1号基本金は、過年度の未組入額のうち、借入金返済に伴い組入れが必要となる額1億6,662万円のほか新たな施設設備関係支出2億3,515万円、リース資産に対する今年度支出額506万円の組入れを行い、耐用年数経過設備の除却額2,908万円を控除した額を組入れています。

(消費支出の部)

科 目	24年度予算	23年度予算	増 減
人件費	3,906,162	4,924,260	△ 1,018,098
(教・職員人件費、役員報酬)	3,865,966	3,826,555	39,411
(退職給与引当金繰入額)	13,699	160,444	△ 146,745
(退職給与引当金特別繰入額)	0	793,810	△ 793,810
(消費収支退職金支出)	26,497	143,451	△ 116,954
教育研究経費	962,324	908,775	53,549
管理経費	364,058	392,389	△ 28,331
減価償却額	649,072	646,621	2,451
借入金等利息	19,953	24,299	△ 4,346
[予備費]	100,000	50,000	50,000
消費支出の部合計	6,001,569	6,946,344	△ 944,775

文部科学省の退職給与引当金の計上等に係る会計方針の統一に基づいて、23年度に変更時差異を退職給与引当金特別繰入額として一括計上しました。

消費支出は、予備費を5,000万円増額の1億円計上し、合計額が60億156万円となり前年度に対して9億4,477万円減額となります。

帰属収支差額(注1)	148,662	△ 714,151	862,813
帰属収支差額比率(注2)	2.4%	-11.5%	13.9%
人件費比率(注3)	63.5%	79.0%	-15.5%
当年度消費収支差額	△ 229,085	△ 981,957	
前年度繰越消費支出超過額	△ 8,810,259	△ 7,904,533	
基本金取崩額	46,366	76,230	
翌年度繰越消費支出超過額	△ 8,992,978	△ 8,810,260	

上記の結果、帰属収支差額は1億4,866万円となり、帰属収支差額比率は2.4%と僅かながら収入超過となります。

当年度消費収支差額は、2億2,908万円の支出超過となり、前年度に比べ7億5,287万円改善しましたが、これは前年度に発生した退職給与引当金の特別繰入額がなくなったことによります。基本金取崩額は、大学泉ヶ丘キャンパスにおいて耐用年数を経過した設備の除却額が今年度組入れ額を上回ったため発生します。

(注1) 帰属収支差額＝帰属収入－消費支出

(注2) 帰属収支差額比率＝帰属収支差額÷帰属収入×100

(注3) 人件費比率＝人件費÷帰属収入×100